

2018年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年8月6日

上場会社名 株式会社ブランジスタ 上場取引所 東
 コード番号 6176 URL <http://www.brangista.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩本 恵了
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 石原 卓 TEL 03-6415-1183
 四半期報告書提出予定日 2018年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年9月期第3四半期の連結業績（2017年10月1日～2018年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年9月期第3四半期	2,443	8.6	△304	—	△304	—	△415	—
2017年9月期第3四半期	2,249	11.5	200	△39.5	201	△39.3	131	△41.3

(注) 包括利益 2018年9月期第3四半期 △416百万円 (—%) 2017年9月期第3四半期 75百万円 (△65.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年9月期第3四半期	△28.77	—
2017年9月期第3四半期	9.26	8.84

(注) 当第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失が計上されているため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年9月期第3四半期	3,019	2,562	84.8
2017年9月期	3,454	2,831	81.9

(参考) 自己資本 2018年9月期第3四半期 2,561百万円 2017年9月期 2,830百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2018年9月期	—	0.00	—	—	—
2018年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
2018年9月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2018年9月期の連結業績予想（2017年10月1日～2018年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	4.4	0	—	0	—	△200	—	△13.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名） 、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年9月期3Q	14,522,800株	2017年9月期	14,290,200株
② 期末自己株式数	2018年9月期3Q	一株	2017年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年9月期3Q	14,431,666株	2017年9月期3Q	14,256,044株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、不確実性を含んだ世界経済について引き続き留意を要する一方、企業収益が引き続き改善傾向にあることや、雇用情勢の着実な改善を背景に個人消費の持ち直しが継続しており、緩やかな回復が続いております。

当社グループを取り巻くインターネット関連市場は、インターネット広告費が好調に推移し、日本の総広告費に対するシェアも約4分の1にまで拡大しております(注1)。また、2018年のインターネット広告媒体費におけるモバイル広告は1兆円を超えると予想されており(注2)、スマートフォン向けに提供している当社の各種サービスの追い風となっております。

このような状況のもと、当社グループは「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」として、「電子雑誌」「ソリューション」と、当社連結子会社(株)ブランジスタゲームが運営する、3Dクレーンゲーム「神の手」(以下、「神の手」)の業容拡大に注力してまいりました。

電子雑誌業務においては、当連結会計年度に「飲み旅本。」「BeViVi(ビーヴィヴィ)」「HowB(ハウビー)」「LiSTA(リスタ)」「FABIENNE(ファビアンヌ)」といった5誌の電子雑誌の創刊を実現しました。更に地方自治体とのタイアップ誌の獲得も強化し、タイトル数の増加を図ってまいりました。

ソリューション業務においては、引き続き業務受託売上が好調に推移いたしました。

また、2017年10月に台湾に設立した当社初の海外現地法人、博設技股份有限公司(Brangista Taiwan, Inc)では、台湾に進出している日系企業や現地企業に対して、EC事業への進出支援やECサポートサービスを提供しており、現地での採用を増やし契約社数の拡大に努めております。

「神の手」においては、2度にわたるテレビCMの全国放送を実施するなど、「神の手」のさらなる認知度の向上を目的とした積極的な先行投資を行ってまいりました。これにより「神の手」スマートフォンアプリの利用者数が増加いたしました。費用が先行しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高2,443,608千円(前年同四半期比8.6%増)、営業損失304,584千円(前年同四半期は営業利益200,916千円)、経常損失304,862千円(前年同四半期は経常利益201,514千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失415,241千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益131,963千円)となりました。

なお、当社グループは「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(注1) (株)電通「2017年 日本の広告費」参考。

(注2) 電通グループ3社「2017年 日本の広告費 インターネット広告媒体費 詳細分析」参考。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は3,019,480千円となり、前連結会計年度末に比べて435,099千円の減少となりました。当第3四半期連結会計期間末における資産、負債及び純資産の状況は次のとおりです。

(流動資産)

流動資産は2,901,284千円となり、前連結会計年度末に比べて410,624千円の減少となりました。これは主に、売掛金が115,895千円減少したことや、連結子会社(株)ブランジスタゲームにおける広告宣伝費の支払いにより現金及び預金が351,414千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

固定資産は118,196千円となり、前連結会計年度末に比べて24,475千円の減少となりました。これは主に、有形固定資産が増加したものの、博設技股份有限公司の設立に伴い設立準備金として計上した投資その他の資産が減少したことによるものであります。

(流動負債)

流動負債は456,679千円となり、前連結会計年度末に比べて166,035千円の減少となりました。これは主に、法人税等の支払いにより未払法人税等が123,005千円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は2,562,801千円となり、前連結会計年度末に比べて269,064千円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が415,241千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては「神の手」のプロモーション費用が先行したことにより、営業損失を計上しておりますが、電子雑誌業務、ソリューション業務は安定的に推移しており、「神の手」においては、第4四半期連結会計期間に「神の手」配信開始2周年を記念した特別企画を実施し、投資回収に取り組んでおります。2017年11月14日の「2017年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありませんが、「神の手」のApp Storeにおける新規ユーザーの受付及びアップデートの停止について、米Apple社と協議中であり、協議の動向によっては当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。今後、連結業績予想の修正が必要と判断した時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2017年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,476,675	1,125,260
売掛金	1,731,538	1,615,643
貯蔵品	109,221	114,959
前払費用	34,242	84,582
繰延税金資産	75,426	65,383
その他	28,621	51,542
貸倒引当金	△143,816	△156,087
流動資産合計	3,311,908	2,901,284
固定資産		
有形固定資産	9,714	15,252
無形固定資産		
その他	50,801	47,715
無形固定資産合計	50,801	47,715
投資その他の資産	82,155	55,227
固定資産合計	142,671	118,196
資産合計	3,454,580	3,019,480
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,664	88,023
短期借入金	100,000	100,000
未払金	108,296	114,446
未払法人税等	132,424	9,419
前受金	39,879	44,553
預り金	19,886	32,565
業績連動賞与引当金	75,935	51,194
その他	38,626	16,475
流動負債合計	622,714	456,679
負債合計	622,714	456,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,555	604,070
資本剰余金	812,190	885,705
利益剰余金	1,488,130	1,072,889
株主資本合計	2,830,876	2,562,665
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	△852
その他の包括利益累計額合計	—	△852
新株予約権	989	989
純資産合計	2,831,865	2,562,801
負債純資産合計	3,454,580	3,019,480

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)
売上高	2,249,444	2,443,608
売上原価	801,103	924,526
売上総利益	1,448,340	1,519,082
販売費及び一般管理費	1,247,424	1,823,666
営業利益又は営業損失(△)	200,916	△304,584
営業外収益		
転籍関連収入	633	—
受取利息	9	16
雑収入	—	236
営業外収益合計	642	252
営業外費用		
支払利息	45	409
為替差損	—	121
営業外費用合計	45	530
経常利益又は経常損失(△)	201,514	△304,862
特別損失		
固定資産除却損	713	4
特別損失合計	713	4
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	200,800	△304,866
法人税、住民税及び事業税	126,380	102,751
法人税等調整額	△1,040	7,623
法人税等合計	125,340	110,374
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,460	△415,241
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,502	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	131,963	△415,241

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年10月1日 至 2017年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年10月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	75,460	△415,241
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	△852
その他の包括利益合計	—	△852
四半期包括利益	75,460	△416,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,963	△416,094
非支配株主に係る四半期包括利益	△56,502	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

第1四半期連結会計期間において、博設技股份有限公司を設立したため、連結子会社に含めております。

(会計方針の変更)

(従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い等の適用)

「従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引に関する取扱い」(実務対応報告第36号平成30年(2018年)1月12日。以下「実務対応報告第36号」という。)等を2018年4月1日から適用し、従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与する取引については、「ストック・オプション等に関する会計基準」(企業会計基準第8号平成17年(2005年)12月27日)等に準拠した会計処理を行うことといたしました。

ただし、実務対応報告第36号の適用については、実務対応報告第36号第10項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、実務対応報告第36号の適用日より前に従業員等に対して権利確定条件付き有償新株予約権を付与した取引については、従来採用していた会計処理を継続しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、「企業プロモーション支援を目的とした電子メディア事業」の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。